

テーマ 「字のない絵本」

「字のない絵本」は物語の言葉が示されていないからこそ描かれた世界が力強く伝わり、それでいて受け取り方は自由であるという独特の魅力があります。今回紹介した以外にも沢山あるのでぜひ探してください。



junaida 『Michi』(福音館書店)

表紙を開くと目の前にはドアノブと鍵穴。それぞれに旅立った少年と少女は、階段と道が入り乱れる不思議な町を歩んでいきます。繊細で鮮やかな世界の未知の冒険は、読みかえすたびに新しい出会いをもたらしてくれるでしょう。



ディヴィット ウィーズナー 『漂流物』(BL出版)

海辺で遊んでいた少年の元に流れ着いた古いカメラ。現像したフィルムには見たことのない幻想的な光景と、とある少女の写真が残されていました。漂流物を通して受け継がれていく秘密と浪漫を楽しめる一冊です。



ニコライ ポポフ 『なぜあらそうの?』(BL出版)

美しい花を手にした1匹のカエル。そこへ不意に現れたネズミがカエルへとびかかり花を奪います。カエルは仲間を呼びネズミに仕返しをすると…ほのぼのとした雰囲気とは裏腹の争いの激しさとむなしさが私たちに伝えるものは。

とっておきの一冊を紹介します

とき読書っこクラブ
下石小学校6年
戸松 真子さん



戦国姫 千姫の物語

藤咲あゆな/作 マルイノ/絵
(集英社みらい文庫)

私は歴史が好きなので『戦国姫・千姫の物語～はかない恋と大阪城落城』を紹介します。

千姫は徳川家康の孫娘で、豊臣秀吉の息子の豊臣秀頼と結婚します。婚約が決まったときはまだ徳川家康は豊臣秀吉の家臣でした。そのあと家康に秀頼と別れさせられ本多忠刻と結婚しましたが、忠刻とも別れることとなります。その後徳川家にもどり春日局がなくなつたあと、母代になって家光を支えました。大変な人生だったけど、みんなに慕われて良かったです。

同じシリーズには『51人のお姫様大図鑑』があります。戦国時代は政略結婚がほとんどで、それぞれに戦国時代を一生懸命に生きたお姫様が紹介されています。私の心に残ったのは伊達政宗の妻でとても愛らしい姫だった愛姫と、真田信幸の妻でとても勇ましい姫だった小松姫です。波乱万丈の人生がまちうけている千姫やほかのお姫様たちの物語を読んでみてください。



1月の休館日

■ 休館日

日	月	火	水	木	金	土	開館時間
	1	2	3	4	5	6	▶火～金曜日 10:00～19:00
7	8	9	10	11	12	13	▶土・日曜日、祝日 10:00～17:00
14	15	16	17	18	19	20	
21	22	23	24	25	26	27	※変更があった場合は、 図書館HPやX(旧Twitter) でお知らせします。
28	29	30	31				

図書館からのお知らせ

年明け最初の開館日である令和6年1月5日(金)に、職員と子ども司書がテーマごとに選んだ書籍3冊とおみくじなどのおまけが入った「福袋」の貸し出しを行います。数は大人用20袋、子ども用25袋の計45袋で、なくなり次第終了します。

新年最初のお楽しみです。ご来館お待ちしております！